

PS5110B ページプリンタ装置
設置資料
(第03版)



適用（目的）

本書はPS5110B ページプリンタ装置の設置作業を目的として規定するものである。

以下は対象装置の仕様である。

PS5110B/BK : CA06715-B001
PS5110BL/Bx : CA06715-B004

お 願 い

- 本書は無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2023

目次

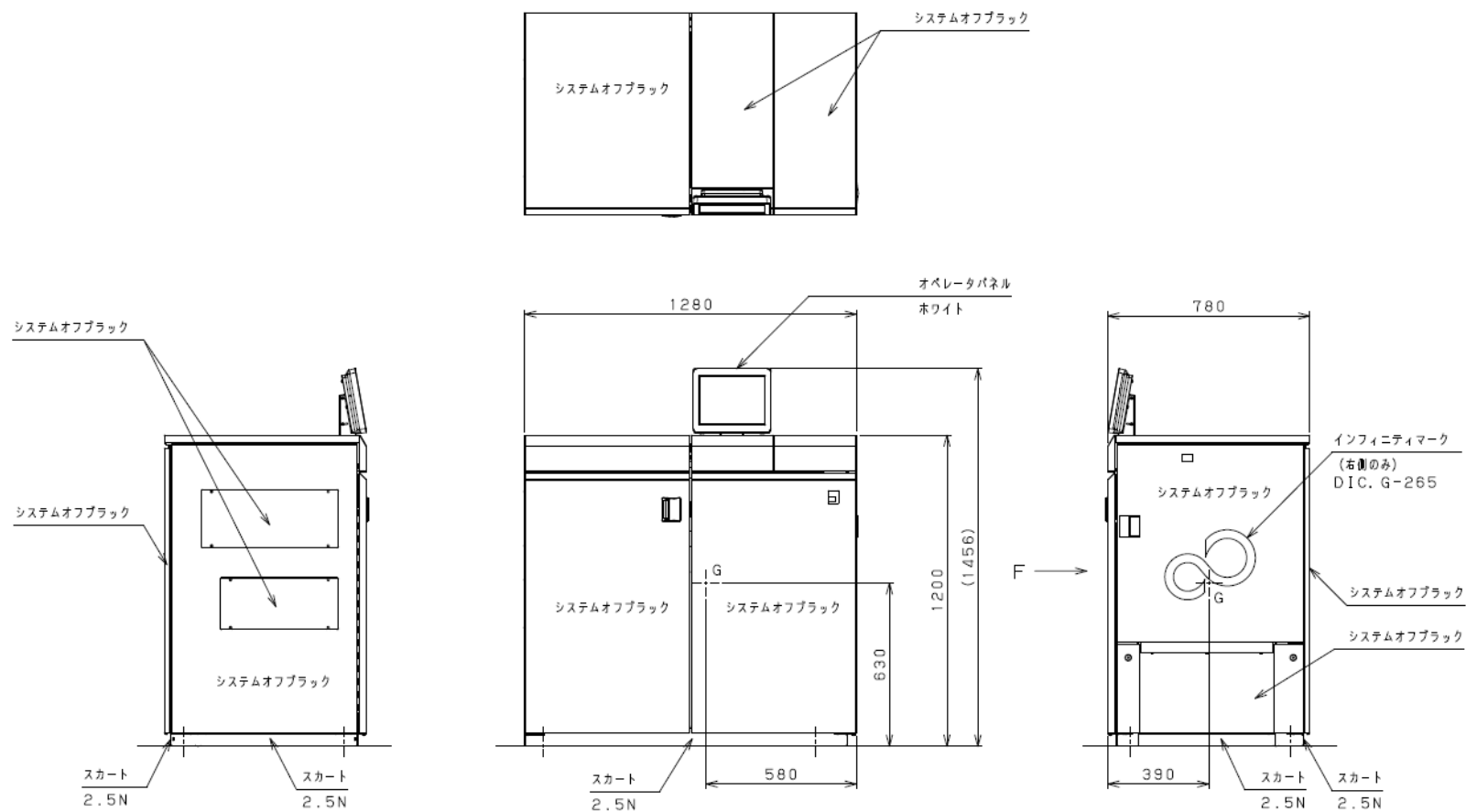
1. 事前準備.....	4
2. 装置外観・重心.....	5
3. 設置緒元.....	6
4. 開口部位置.....	9
5. 装置の水準設置作業手順（原則として施設部門で行う作業）.....	10
6. 排気部位置.....	11
7. 装置併設時の注意事項.....	13
8. 装置の電源投入時間及び初期化時間について.....	14
9. 地震対策について.....	14

1. 事前準備

- 工具/測定器の準備

チェック	準備品	準備部門	備考
<input type="checkbox"/>	本書	施設	
<input type="checkbox"/>	L型水準器	施設	メーカー：(株)大菱計器 製品名：クロステストレベル 型番：AN101 寸法(L×W×H mm)：75×50×15
<input type="checkbox"/>	レベルフット調整工具 (30mmスパナ)	施設	
<input type="checkbox"/>	標準工具一式	CE	
<input type="checkbox"/>	FST (CDドライブ付き)	CE	• 保守マニュアル確認等で使用 • CDドライブはPS5110BKモデル時のオプションファームインストール時に必要
<input type="checkbox"/>	デジタルマルチメータ	CE	

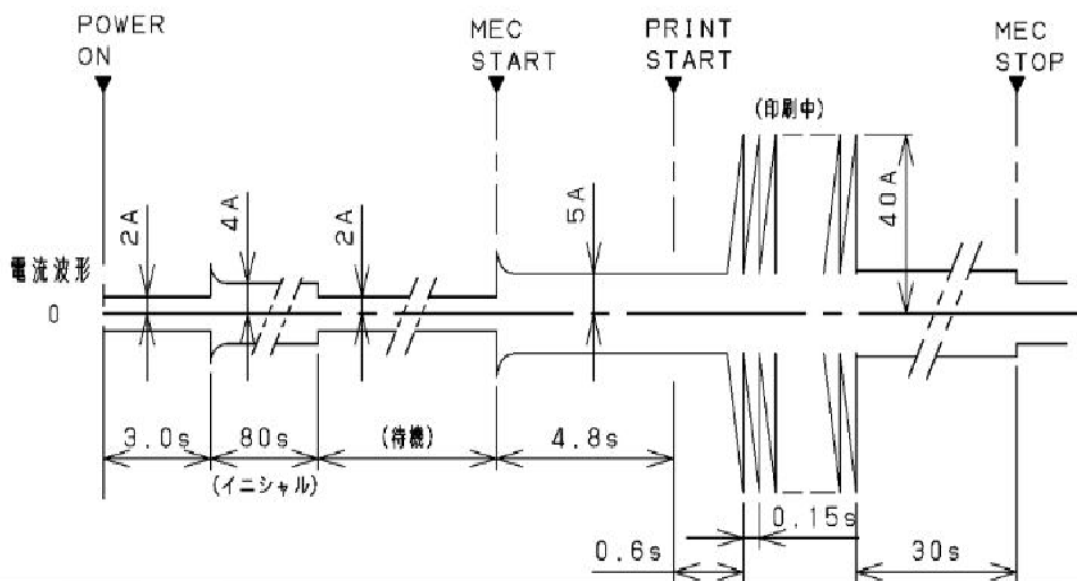
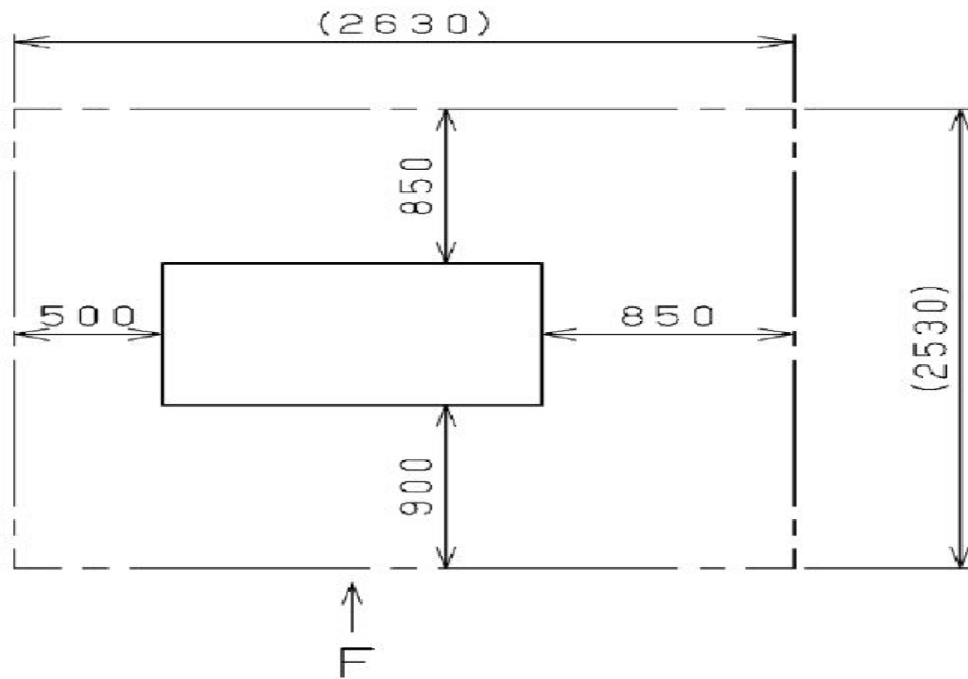
2. 装置外観・重心



3. 設置緒元

項目		値				備考
外形寸法 [mm]		幅	奥行	高さ		オペパネル部（装置正面側） ：約256mm突出
		1,280	780	1,200		
重量 [Kg]		約 500				PS5110BK フルオプション搭載時
		約 450				PS5110BL/Bx オプション無し時
保守エリア [mm]		前	後	左	右	方向は装置正面を基準とする。 詳細は下図の「保守エリア」による
		900	850	500	850	
入力電源	電圧	AC200V±10%				入力電源波形は下図による
	相数	1φ				
	周波数	50/60Hz -4~+2%				
所要電力量 [KVA]	制御中	約 4.6				PS5110BK フルオプション搭載時
		約 4.5				PS5110BL/Bx オプション無し時
	非制御中	約 0.7				PS5110BK フルオプション搭載時
		約 0.6				PS5110BL/Bx オプション無し時
発熱量 [MJ/H]	制御中	約 16.5				約 3950 [kcal/H] PS5110BK フルオプション搭載時
		約 16.2				約 3870 [kcal/H] PS5110BL/Bx オプション無し時
	非制御中	約 2.5				約 600 [kcal/H] PS5110BK フルオプション搭載時
		約 2.2				約 520 [kcal/H] PS5110BL/Bx オプション無し時
漏洩電流 [mA]		5.0 以下				
温・湿度 許容範囲	装置状態	稼働中		休止中		
	温度 [°C]	5~35		0~50		
	湿度 [%RH]	20~80		20~80		結露なきこと
	最高湿球温度	29°C		29°C		
許容塵埃 [mg/m ³]		0.15 以下				ステアリン酸基準
許容振動 [m/s ²]		1.96 以下				(0.2G 以下)
電源入力端子		M6 ボルト端子 1 系統				有資格者（電気工事士）による 電源工事が必要
騒音 [dB/(A)]	制御中	正面：60 背面：67				(半無響室)
	非制御中	正面：50				JIS Z8731 A 特性による
排気量 [m ³ /min]		約 28				
NFB 容量 [AT]		30				

保守エリア



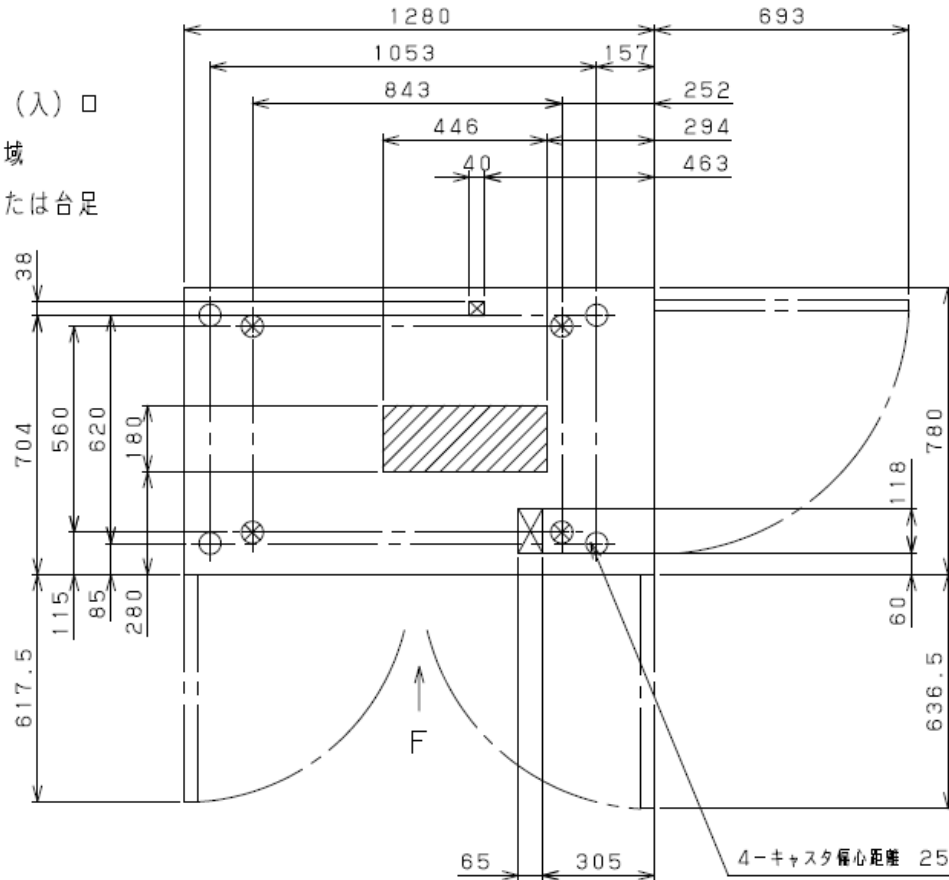
注記

1. 装置水平度2/1000mm以内。
2. 装置背面側に塵埃に厳しい装置の設置を避け、装置室内の空気設備には塵埃濾過機能を持っていること。
また、清掃を行う場合はエアガン等を使用した塵埃の吹き飛ばしは行わず、掃除機で行うこと。
3. 設置場所の照度は装置上面で500lux以下。
4. 装置使用NFB：EW32AAG-2P030A（富士電機）。
5. 本装置設置環境条件としてアンモニアガス、石油系溶剤のガス発生する場所への設置は避けること。
尚、やむを得ず湿式現像液使用の印刷装置と併設される場合には上記ガスの濃度が200ppm以下であること。
注： 湿式プリンタ TORAY8572など
湿式プロッタ ペンソン9336、パーサテックECP25/45など。
参考：測定器としてコスモス電機株式会社製携帯用 超高感度ガス検知器XP-306がある
6. 設置場所での加湿器を使用する場合は、蒸気式の加湿器を使用すること。
超音波式の加湿器を使用すると白粉が発生し印字障害となりますので、絶対に使用しないこと。
7. 保守エリアは、装置の保守サービスを実施するのに必要なスペースである。
必ず確保すること。
8. 装置背面には、装置稼働中 約3,950（PS5110BK フルオプション搭載時）、3,870（PS5110BL/Bx オプション無し時）[kcal/H]の排熱がある。
排気ファン・フロアの排気の障害になるものを置かないこと。
稼働中でも周囲環境許容範囲を維持できるよう、装置背面の空間、空調設備（排熱ダクトなど）を設ける必要があります。
9. バースターの除電ブラシなどの導電性異物を使用している、または発生させる恐れがある機器や装置は、本装置との間に仕切りを設けるなどの対応を実施すること。導電性異物が本装置内に混入すると誤動作や壊れる恐れがある。
10. 本装置の設置はフリーアクセス床とし、本装置の重量に対して積載荷重が十分満足すること。
11. フリーアクセス床の表面材料は静電気の発生が少なく、清掃が容易であり、かつ塵埃の発生が無いものを選定すること。

4. 開口部位置

凡例

- ☒ 装置のケーブル取出（入）口
- ▨ 床下空調用孔許容領域
- レベリングパットまたは台足
- ⊗ キャスタ
- F → 装置正面



■開口時の注意事項

フリーアクセス床のくずれ防止)

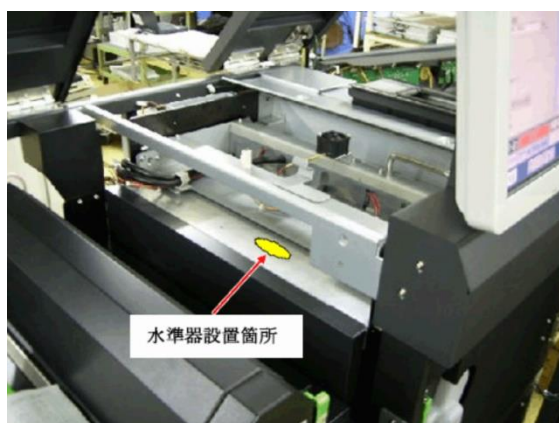
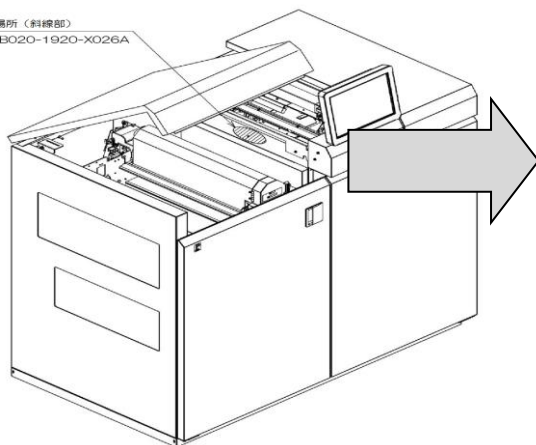
- 地震や搬入時の水平力でフリーアクセス床が移動するような開口を避けること。
- 床下空調方式等で開口部を大きくとる場合に、フリーアクセス床をそのまま1枚外したり、1辺を全部カットしたフリーアクセス床を用いたりしないこと（このような開口をあける場合はボルトや金枠などで補強する）。

羊細は工事部門へ相談すること。

5. 装置の水準設置作業手順 (原則として施設部門で行う作業)

1. カバーの取り外しを行い、水準器を置く位置を確保する。(CE 作業)
2. 光学ステーの平面部に水準器を置いて水準調整を行う。
3. 水準調整方法は、台足A～Dの4点で行う。
(装置水平度2/1000mm以下)
(注1) 装置フレーム変形防止のため、高さ調整は台足4箇所を作業者4人で同時に行うか、台足1箇所毎に約90度ずつ回転させながら、全体的に少しずつ高さ調整していくこと。台足1箇所のみを一気に高さ調整すると本装置のフレームが変形する恐れがあるため絶対に行わないこと。
(注2) キャスタ(4個)がフリーになるように台足を調整する。
(スカートの高さ確保のため、最低でも床と装置の高さを70mm程度確保する。なお、スカートの取り付けはCE作業となる)

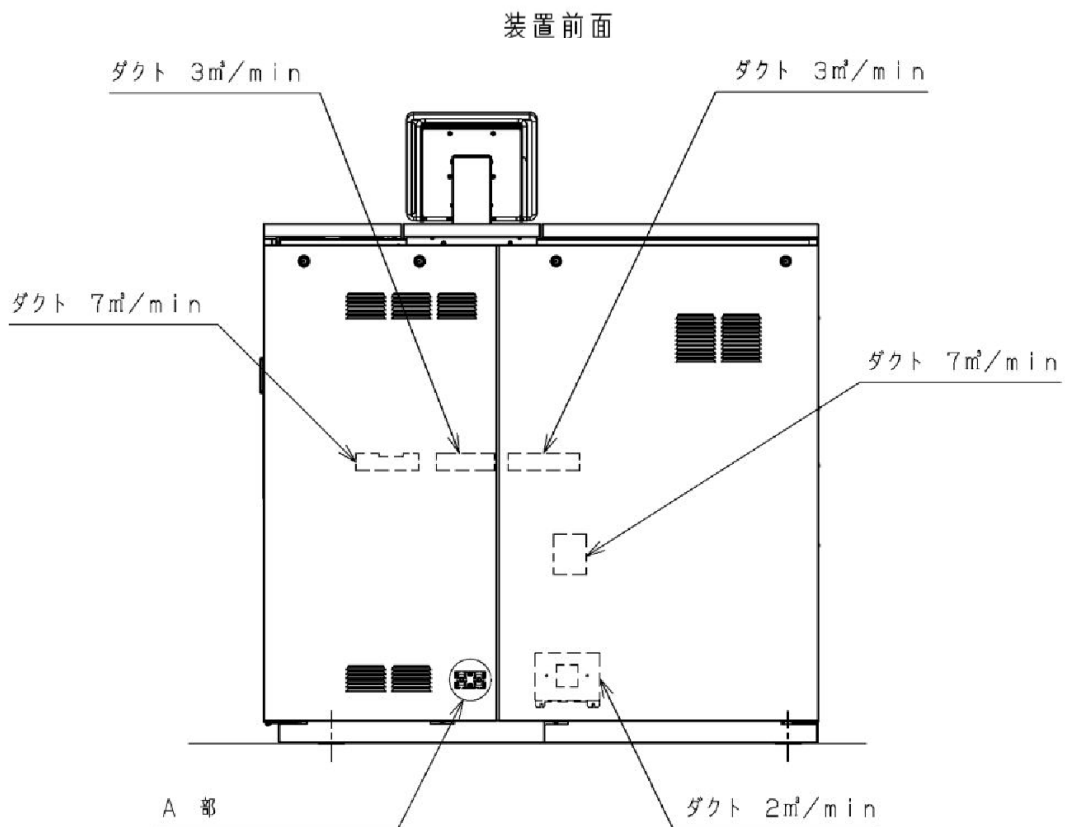
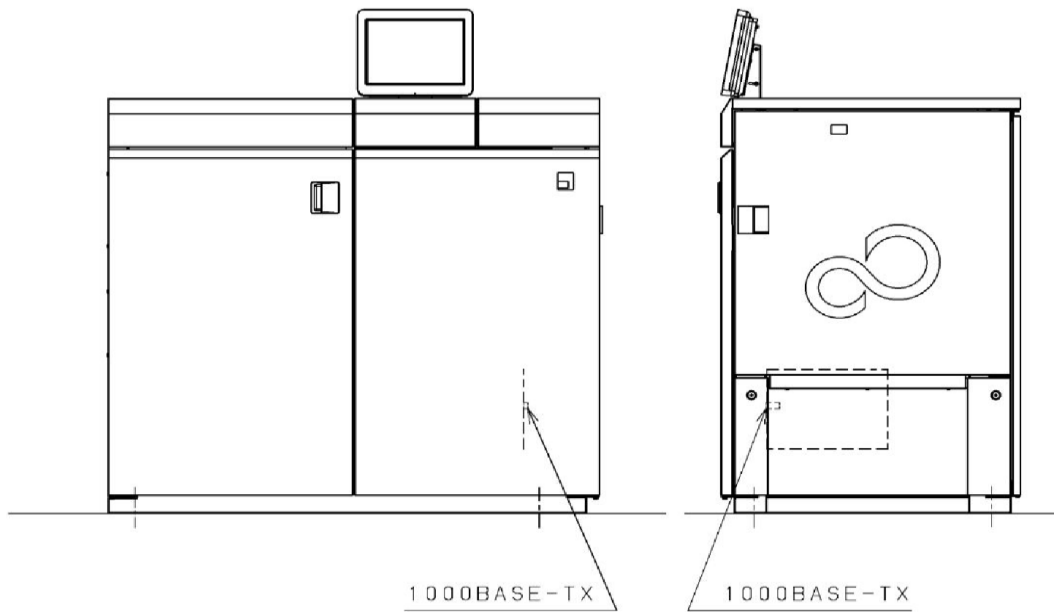
水準器設置場所(斜線部)
光学ステー: B020-1920-X026A



装置正面
台足の位置

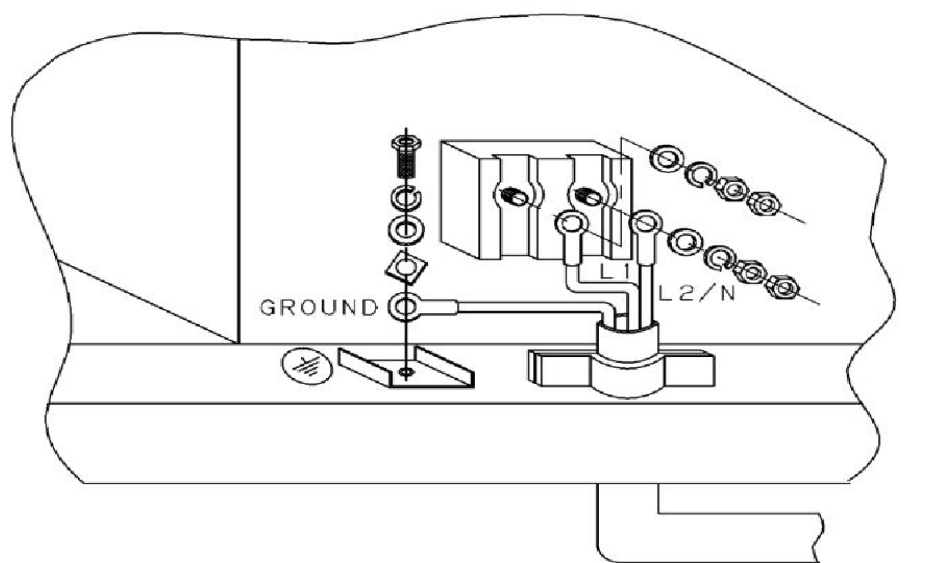
4. 取り外したカバーの取り付け作業を行う。(CE 作業)

6. 排気部位置



装置背面

A部 詳細図



ケーブル接続図

(注) 接続には有資格者（電気工事士）による作業が必要であり、電源工事の手配が必要である。

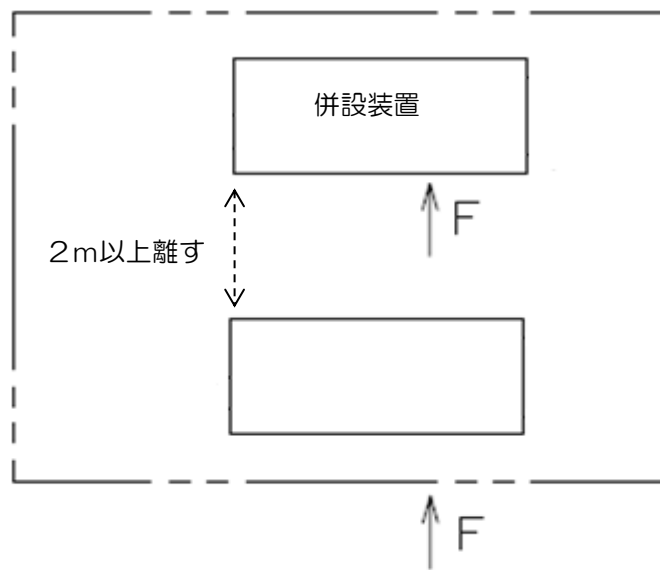
7. 装置併設時の注意事項

ダクト（6. 排気部位置 参照）からの排気により併設したプリンタ装置の用紙交換時に用紙バタツキ等操作上の障害が生じたり、排熱が併設装置に影響を与える恐れがあるため、保守エリアのスペースを必ず確保すること。

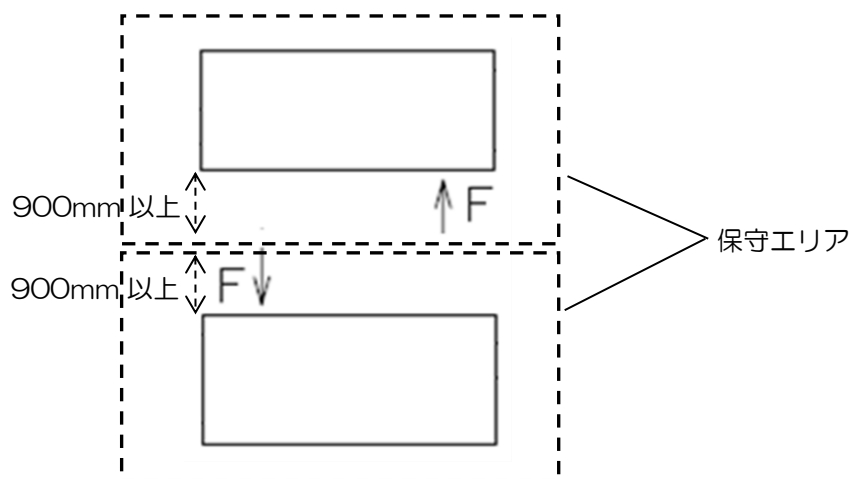
また、以下の例に示すよう、装置背面からの排気がかからないように設置すること。

（↑F、 F↓： 装置正面）

- 後ろの装置を2m以上離す。（装置併設例1）
- 互いの装置背面部を外向きにする。（装置併設例2）
（注1）装置背面を内向きにする設置は行わないこと。



装置併設例1



装置併設例2

8. 装置の電源投入時間及び初期化時間について

電源投入時間	初期化時間（イニシャル時間）	
3秒 MAX	エンジン	90秒 MAX（※1）
	コントローラ	195秒 MAX

（※1）現像剤のオートアジャストが起動した場合は約10分間となる。

9. 地震対策について

地震対策は、機器の転倒と破壊の防止、オペレータの安全、およびシステムの早期復旧を目的としている。富士通では、地震による機器の被害を防ぐために、以下の地震対策工法を提供している。

固定工法： 装置を固定することにより、転倒を防止する工法

（注）装置をオイルジャッキ等で持ち上げないこと（装置変形の原因となる）。
足を交換する際は、フリーアクセス床を一部外し、その箇所に慎重に装置の足を移動させて（穴へのキャスト脱落に注意）、床下から足を交換すること。

※地震対策工法の施行にあたっては、富士通の工事部門へ相談すること。

FUJITSU